

研究公開文書

年 月 日

研 究 名	尿中ビリルビンの試験紙法検査による偽陽性反応の確認試験に関する検討
研 究 の 概 要	尿中ビリルビンの試験紙による反応は、ジアゾカップリング反応を原理としているため、この反応に影響を与える物質が尿中にある場合は、試験紙法による結果値が偽陽性を示すことがある。ビリルビンの検査は試験紙法以外に、塩化バリウムと塩化第二鉄を用いた青色の呈色反応がある (Harrison 法)。我々は、数滴の尿検体で検査可能な改良 Harrison 法を考案し、従来法による確認試験との結果を検討する。
研 究 対 象	尿中ビリルビンが陽性を示す患者検体
研 究 責 任 者	磯崎 勝
研 究 実 施 期 間	2025年11月30日
連 絡 先	小田原市久野46番地 小田原市立病院 0465-34-3175